

健康経営への取り組み

国際協商は、1952年に創業して以来、日本の航空産業の成長とともに歩み続け、空港に特化した卸売事業を核として事業を展開してまいりました。

私たちの原点は、商品やショップを通じて、空港にいらしたお客様が楽しく、快適で、便利に過ごせる空間を演出することにあります。「日本国内の優れた商品を発掘し、プロデュースする力」「空港専門商社ならではの情報を付加価値とし、すべてのお客様に『感動』を届ける」——この使命を果たすためには、働きがいのある職場で、働く皆さんが人間的魅力を伸ばせるような環境を整備することが不可欠であると考えています。

当社は、2024年（令和6年）8月に「健康企業宣言」を行い、役職員一人ひとりが心身ともに健康で、笑顔で元気にいきいきと働ける職場づくりに取り組んでまいりました。その結果、2025年（令和7年）に協会けんぽ東京支部より「健康優良企業（銀の認定）」を取得し、さらに経済産業省が認定する「健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）」の認定を受けることができました。これは、全役職員が一体となって健康づくりに真摯に取り組んできた成果であり、今後も継続的に健康経営を推進してまいります。

■ 健康企業宣言

- ・ 品質の高いサービス提供のための役職員の健康保持・増進
- ・ 笑顔で元気にいきいきと働くことが出来る職場づくり

国際協商は働く皆さんの健康保持・増進のため、各種施策に積極的に取り組むことをここに宣言します。



■ 両立支援サポート宣言

- ・ 介護と仕事を両立する社員を積極的にサポートします！
- ・ 育児と仕事を両立する社員を積極的にサポートします！
- ・ 病気の治療と仕事を両立する社員を積極的にサポートします！

それぞれの人生において、家族の介護が必要となる時期、次世代を担う子どもを安心して出産し育児に取り組める環境が必要な時期、病気の治療をしながら仕事をしなくてはならない時期は誰にでも訪れる可能性があります。そのような状況でも仕事との両立ができるよう、望むキャリアを諦めずに働き続けることができるよう、両立支援対策を充実させ、積極的にサポートしてまいります。

■ 健康経営優良法人認定

当社は、経済産業省および日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）」に認定されました。

この認定は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に健康経営に取り組む法人として、優良な取り組みを行っている企業に与えられるものです。

国際協商株は今後も、役職員の健康保持・増進を経営課題として捉え、健康で働きやすい職場環境の実現に向けて、積極的に健康課題に取り組んでまいります。



2026年（令和8年）4月
国際協商株式会社
代表取締役社長

永瀬光統